

JOLA(ジャパンアウトドアリーダーズアワード)2018 北都留森林組合の中田無双氏が優秀賞を受賞



北都留森林組合参事の中田無双氏

ジャパンアウトドアリーダーズアワード2018(JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD2018、以下、JOLA)の表彰式が四月二日に東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されました。関係者ら約一二〇名が参加し、北都留森林組合参事の中田無双氏が優秀賞を受賞しました。

JOLAは二〇一五年に創設され、今年で二回目の開催です。山や川、海、森、田畑などで次世代を育てる人を表彰しています。今

回は昨年(二〇一七年)九月から一月まで募集し、全国から七七件の応募がありました。一次、二次、最終審査を経てファイナリスト八名が選考され、大賞一名、特別賞二名、優秀賞五名が決定しました。

◇ ◇
中田氏は、平成一四年に北都留森林組合にIターン就職。その経験から、都会と森をつなぐ通訳者(インタープリター)としての役割や、林業のプロフェッショナルとしての「森林環境教育活動」、森を中心とした持続可能な流域循環型社会の実現に取り組んでいます。

受賞後に中田氏は、「林業界初、森林組合初、山梨県初という大変名誉ある賞を頂戴し大変嬉しく存じます。また、この賞は林業へのエールであると考えております。林業は持続可能な循環型産業であり、山村の中心的な産業です。元気な森を未来の子供たちへ引き継いでいくためにはなくてはならない大切な職業です。その『森と共に生きる』素晴らしく魅力ある林業という仕事を子供たちの憧れの職業の一つにしたいと思います。そのため



JOLA2018表彰式での受賞者

には私たち山で働く大人ひとりひとりがかっこよくキラキラと輝いている姿を子供たちに見せてあげられなければならないと思います。これからも森林環境教育活動を通じて日本の森の豊かさ、大切さ、林業の素晴らしさ、面白さを多くの子供たちへ楽しく面白く素敵に伝えていきたいと思えます。」とその思いと抱負を述べました。